

＜スクールアルバム＞

スクールイースター ◆探した卵の中にかかれたイースターのシーンを縦割りグループで表現しました。(エルサレム入城) ◆小学部作成の仕掛けカード↓



春のイースターフェスティバル ◆近隣の子ども達も大勢来てくれて、盛況でした！スクールの生徒達は様々な奉仕で大活躍



新入生歓迎全校遠足

◆品川アクアパークへ。小学生から高校生までの縦割りグループで仲良く行動。大迫力のイルカショーではずぶ濡れ



お願い・ご報告

- 新年度4月の行事は守られ、祝福されました。皆さまのお祈り、ご協力に感謝いたします。
- ご紹介が遅れましたが、新年度、TMさん(小1)、SOさん(小3)、SEさん(小3)、SKさん(小4)、KYさん(小6)、IKさん(中1)、SMさん(中1)、OYさん(高1)が入学しました。よろしくお願いします。
- 3日(土)、音楽担当のOH先生の結婚式が行われます。祝福をお祈りしましょう。
- 11日(日)13時30分～、栄公会堂にて、本郷台キリスト教会合同礼拝が行われます。ご家族皆さんでぜひ参加をお願いします。
- 自転車通学者を対象に自転車安全指導・点検を実施いたしました。自転車走行の際は、くれぐれも事故のないよう、安全運転をしてください。
- 防災費用として、年額500円を副教材費から徴収させていただきます。ヘルメット、防災備蓄品(乾パン・水等)等の購入のためです。2024年度分は、2025年5月の副教材費精算時に請求させていただきます。ご協力をお願いいたします。なお、2023年度分を2024年5月に請求させていただくところ、請求できていなかったもので合わせて請求させていただきます。大変申し訳ありません。
- 小学部は、5月または6月にのあ保育園との交流会を計画しています。
- 6月18日(水)は、スクール開校記念日で休校です。

今月のみことば(暗唱聖句)

「そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてくださいませ。」ヨハネ 14:16

“And I will pray the Father, and He will give you another Helper, that He may abide with you forever—” John 14:16

英語でも覚えましょう

祈祷課題

- 1、連休明けからの学校生活で学習においても友達関係においても豊かに祝福されますように。
- 2、スタッフ一人ひとりが主からの知恵と愛をいただき喜びをもって指導にあたれるように。
- 3、あらゆる困難を乗り越え、資金も満たされ新校舎が建設されますように。さらに学校法人を取得でき、学びの多様化学校として整えられるように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 5月号

2025.May. 1

VOI.213

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「神様を無視しない」

小学部担任 石川 優実

新学期が始まって1ヶ月が経ちました。新入生たちの緊張も少しずつほぐれ、スクール生活を楽しんでいる様子が見られます。

4月のイベントを振り返ると、新入生歓迎遠足やエッグハント、フェスティバルなど盛りだくさんでしたが、中でも印象深かったのは4月18日に行われた「グッドフライデー」のイベントでした。

グッドフライデーとは、イースターの前の金曜日のことで、イエス・キリストが私たちの救いのために十字架にかかり死んでくださったことを覚える日です。この日のために、本郷台キリスト教会のチャペルには絵画とみことばのパネルが飾られ、イエス様の十字架までの歩みをひとつひとつ味わうことができるようになっていました。

生徒たちは真剣にパネルに見入り、クリスチャンの生徒が新入生にみことばの意味を説明する姿も見られました。また、十字架の重さを再現した約30キログラムのおもりを持ち上げて「重い!」と驚いたり、いばらの冠を見て「痛そう……」と呟いたり、それぞれにイエス様の受けられた苦しみをリアルに想像していました。

そんな中で、私の心に留まったのは「ペテロの否認」というパネルでした。イエス様の弟子であったペテロは、「たとえ、あなたと一緒に死ななければならぬとしても、あなたを知らないなどとは決して申しません」と宣言していました。しかし、いざイエス様が裁判にかけられる局面になると、ペテロはイエス様との関わりを否定してしまうのです。

しばらくすると、立っていた人たちがペテロに近寄って来て言った。「確かに、あなたもあの人たちの仲間だ。ことばのなまりで分かる。」するとペテロは、嘘ならのろわれてもよいと誓い始め、「そんな人は知らない」と言った。すると、すぐに鶏が鳴いた。ペテロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と言われたイエスのことばを思い出した。そして、外に出て行って激しく泣いた。 **マタイの福音書 26章73～75節**

このみことばを見たとき、ある出来事を思い起こしました。「神様の声を聞いて決めよう」と思っていたことがあったのに、結局待ちきれずに自分の気持ちだけで決めてしまったのです。神様の声に従うべきだと分かっているのに耳を傾けないのは、神様を無視することです。「そんな人は知らない」と言ったペテロと同じ罪を犯していたことに気づき、深く悔い改めました。

慌ただしい毎日の中で、私たちはつい神様の声を聞くことをおろそかにしてしまいがちです。特に、「絶対にこうしたい」という強い願いがあったり、「この日までに決めなくては」と焦っていたりすると、神様の声を聞くことがさらに難しくなります。しかし、そんな時にこそ神様を無視せず、「みこころを教えてください」と祈ることが必要だと改めて思われました。

神様はすぐに答えてくださらないこともあります。けれど、祈って決めたことは必ず、神様が責任をとって最善に導いてくださるのです。

あなたが右に行くにも左に行くにも、うしろから「これが道だ。これに歩め」と言うことばを、あなたの耳は聞く。 **イザヤ書 30章21節**

5月のカレンダー

日	月	火	水
4日 みどりの日	5日 子どもの日	6日 みどりの日 振替休日 0 先生誕生日	7日 合同礼拝（1限） ハイキング&星野富弘展詩画展見学（北鎌倉）
11日	12日	13日	14日 学部別礼拝（1限） 特別授業（中高等部）
18日	19日	20日	21日 合同礼拝（1限）
25日	26日	27日	28日

- ・1日（木）、学部別に新入生歓迎行事を行います。小学部は「ソレイユの丘」（横須賀）、中学部は、「ゲーム大会」（スクール）、高等部は、「もんじゃ焼きを食べに行く」（横浜）です。詳細は、各学部担任から保護者の皆様にご連絡します。確認をお願いします。
- ・2日（金）は、4月19日（土）に行ったフェスティバルの代休になります。
- ・7日（水）、ハイキング&星野富弘展詩画展の見学（北鎌倉）です。当日はスクールに通常登校、解散は本郷台駅です。詳細は、担任よりご連絡しますので、ご確認をお願いします。
- ・14日（水）奉仕総合の時間に、中高生は、東京基督教大学にて、異文化理解・国際協力担当しておられるM先生が講師として来られ特別授業を行ってくださいます。
- ・22日（木）に尿検査①、6月4日（水）に尿検査②を実施します。朝9時までに忘れずに提出してください。（できるだけ22日（木）に提出するようにしましょう。）
- ・22日（木）は、スタッフ研修のため、下校は14時30分です。確認をお願いします。
- ・5月31日（土）午前、オープンスクール「スクール体験の日」及び授業参観日とします。オープンスクールは、一般の小中学校に通う方々に、本校を体験してもらおうと企画しました。本校生徒の皆さんは、登校日とし、通常登校です。また、12時から、お父さんやお母さんに感謝する日として「ペアレンツデー」を実施します。保護者の皆様は、授業参観と合わせ、出席をお願いします。下校は、13時30分です。なお、6月2日（月）は、代休で休校となります。
- ・5月連休明け、発育測定（身長・体重測定、視力検査）を行います。
- ・5月中に避難訓練を行います。
- ・保護者、スタッフ向けバイブルタイムを毎週木曜日に行っています。子ども達が日々恵みをいただいている聖書の言葉をご一緒に味わっていきましょう。初めての方も大歓迎です。8日（木）、15日（木）の13時30分～、場所はのあISの小学B教室です。お問い合わせは鈴木（090-1773-7305）まで。
- ・今年度は学校法人化に向けて、資金作りの一つとして生徒のパステル画の作品を印刷し、3枚1組セットにして販売します。その袋詰め作業を、30日（金）9:30～11:30、小学部陽館（野七里1丁目7-22）にて行います。少しの時間でも大丈夫ですので、是非お手伝いをよろしくお願いします。詳細は後日メールにてお知らせします。お問い合わせは鈴木まで。

木	金	土
1 日 新入生歓迎行事 (小学部・中学部・高等部)	2 日 代休 (4/19 日(土)) の代休	3 日 憲法記念日
8 日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	9 日 委員会活動 (6 限) O 先生誕生日	10 日 E さん誕生日
15 日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	16 日 小学部授業参観 (5 限) 懇談会 (6 限) クラブ活動 (6 限)	17 日
22 日 尿検査① スタッフ研修会 (下校 14:30)	23 日 クラブ活動 (6 限)	24 日 A 先生誕生日
29 日	30 日 クラブ活動 (6 限) 資金作りのための作業手伝い(保護者) (9 時 30 分～11 時 30 分)	31 日 オープンスクール「スクール 体験の日」・授業参観 (午前) ペアレンツデイ (午後)



子育てnote

「しかし、必要なことは一つだけです。」ルカの福音書 10 章 42 節」

私たちは子供のために、何を残してあげることが、彼らが生きていく人生において祝福になるのでしょうか。お金でしょうか？家でしょうか？教育でしょうか？どれも大切なものではありませんが、彼らが本当に祝福に感じるのは、やはり良い関係、家族の温もりの感触ではないでしょうか。それは彼らの心に平安を残し、その心に希望と喜びを与えます。そのためには、私たちは日頃からの、家族の中での会話に注意していかなければなりません。

オリンピック、経済力、車の売れ行き…世の中はありとあらゆる事柄において、順位付けがなされ、比較論がまかり通ります。そのような雰囲気の中で、私たちは、ともすると、我が子についても、つつい順位付けし、比較する口調で語ってしまうのではないのでしょうか。兄弟同士を比較したり、また、我が子を他の家の誰かと比較したりすることは、家族の会話の中で絶対に避けるべきテーマです。

特に兄弟同士を競合させるような言葉を発しないことです。もしそうするなら、いつの間にか、兄弟同士の間でコントロールの効かない、不必要な競争意識の中で生きようになってしまいます。そのような意識は大人になってからも、兄弟同士の間での競合関係を生み出し、不必要な葛藤や戦いを起こします。果ては兄弟同士で行き来することもなくなり、最低限以上に接点を持たない関係になってしまいます。せっかく兄弟姉妹という関係に生まれてきたのですから、彼らが互いに愛し合い、助け合う関係になっていけるよう、その成長期に子供たちを指導し、親がその見本を見せていきましょう。互いのために祈り合うことも、子供に大きな安心感と生きる喜びを育みます。

校長 月井博

